

組付要領書及び部品表

Takakita

ミニローバレー用

日農工特4Pオートヒッチ

RB-A(1・2)

RB-B

適応機種 RB-520RN
RB-521RN



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本組付要領書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。
本組付要領書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットからアクセスすることができます。



株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、**ミニロールベアラ用 日農工特4PオートヒッチA型およびB型**の組付要領について記載しております。組付前には必ず、この組付け要領書をお読みのうえ、正しく組付けてください。また、ご使用前には、必ずミニロールベアラ本体の取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも必ず製品に近接して保管してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『組付要領書及び部品表』を製品に添付して、お渡してください。
- この組付要領書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明な点やお気付の点がございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠ 危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ 注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

目 次

オプションヒッチの組付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

1. 日農工特4 P オートヒッチA型用部品・・・・・・・・・・・・ 1
2. 日農工特4 P オートヒッチB型用部品・・・・・・・・・・・・ 4
3. 各部へのグリスアップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
4. ターンバックルによる機体角度調整・・・・・・・・・・・・ 7

オプションヒッチの組付け

RB-A

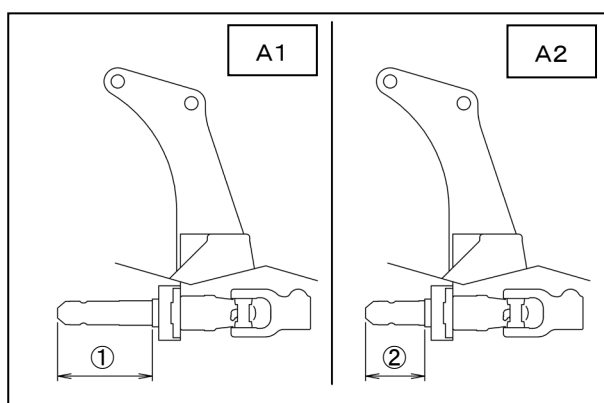
1. 日農工特4PオートヒッチA型用部品

日農工特4PオートヒッチA型をお持ちのお客様は、次の手順でオプション部品を取り付けていただくと、オートヒッチでの着脱作業が可能です。ミニロールベアラ本体にオプション部品を組み付ける時は平坦で安定した場所で行ってください。また、ミニロールベアラの取り扱いについては本体の取扱説明書をご確認ください。

◆入力軸の種類の確認

AヒッチではA1とA2で使用する入力軸の種類が異なります。お使いのトラクタに合った入力軸を組付けているかをご確認ください。

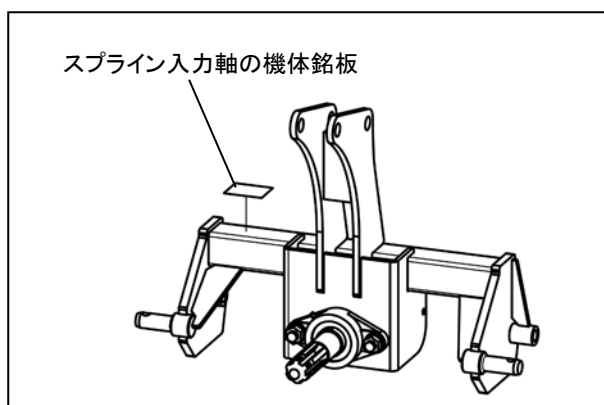
入力軸先端からベアリング先端までの距離



No.	距離
①	140mm
②	90mm

◆組付け前の準備

スプライン入力軸の機体銘板をヒッチフレームに貼付してください。



以下、図中の入力軸はA1タイプですが、組付け手順はA1とA2で共通です。

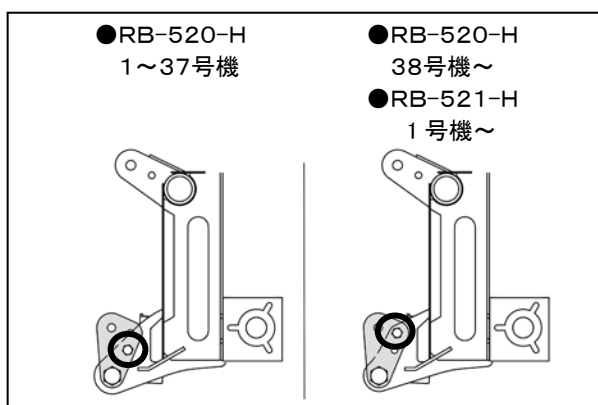
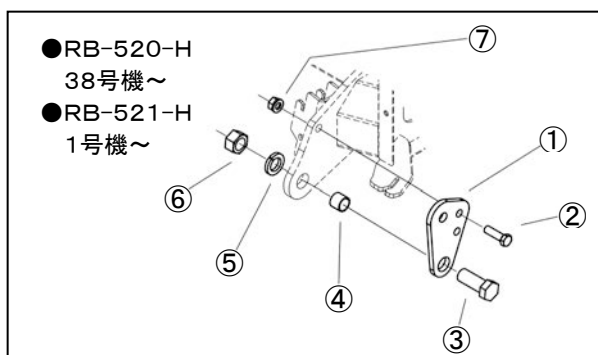
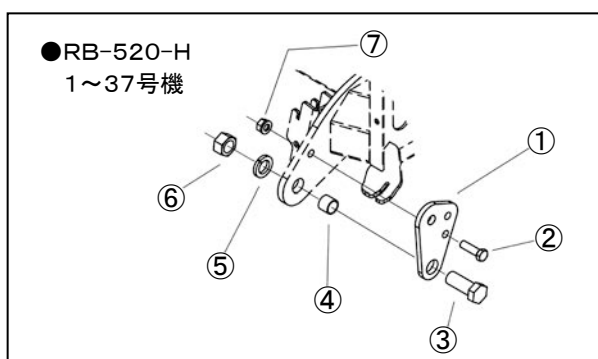
◆組付け手順

[1] 作業機本体のローワーリンクに

- ①コティブケットを
- ②ボルト12×40(8T)
- ③ボルト22×55(8T)
- ④ブッシュ
- ⑤バネザガネ22
- ⑥ナット22
- ⑦スプリングナット12

を使用し組付けてください。

②のボルトを通す穴は本体号機によって異なります。組付けの際は号機番号をご確認ください。

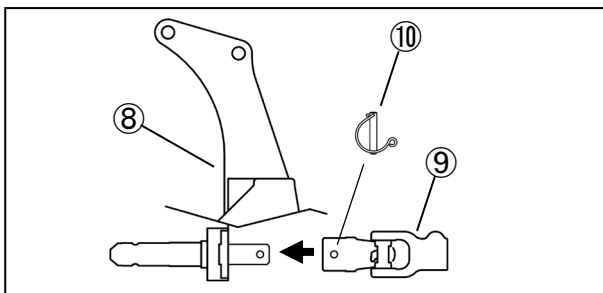


オプションヒッチの組付け

RB-A

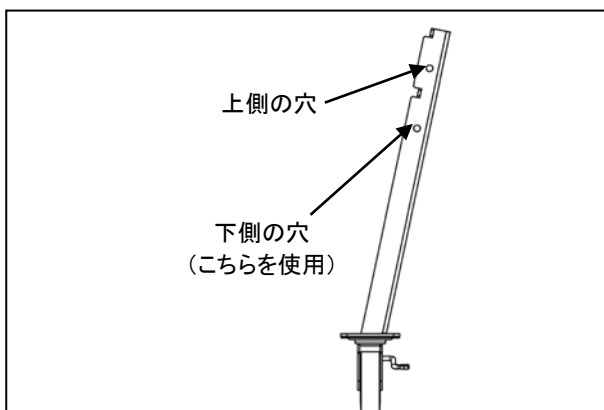
[2] ⑧アタッチヒッチA本体のスプライン入力軸に⑨シングルジョイントを差し込み、⑩ジョイントピンφ10×60で固定します。

⑩のピンは過負荷がかかると切断します。切断した際は指定されたピンと交換してください。



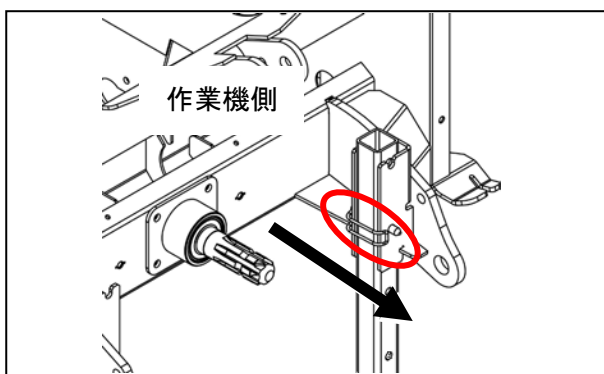
部 品 名 称	部品コード	員数
⑩ジョイントピン φ10×60	11638-1423-000	1

[3] ミニロールベアラのスタンドの位置を調整し、下側の穴に合わせてください。

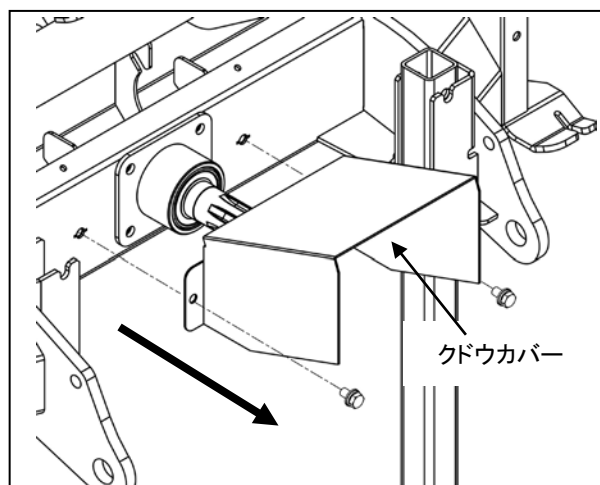


注 意

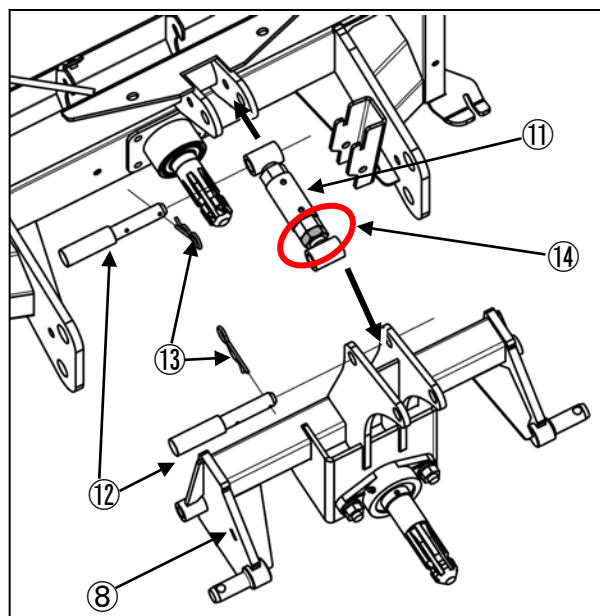
RB-521-HではAヒッチを使用する際、スタンドのリンチピンを作業機側から入れてください。



[4] ミニロールベアラからクドウカバーを取り外します。



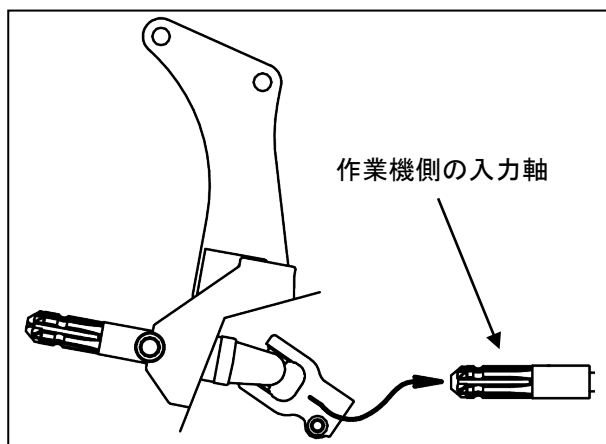
[5] ⑧アタッチヒッチA本体を⑪ターンバックルを介して⑫トップリンクピン、⑬アールピンで作業機本体と接続します。⑭ロックナット (図中○部) がある方をアタッチヒッチ側に向け、反対側は作業機本体トップリンク部の穴を使用して接続してください。



オプションヒッチの組付け

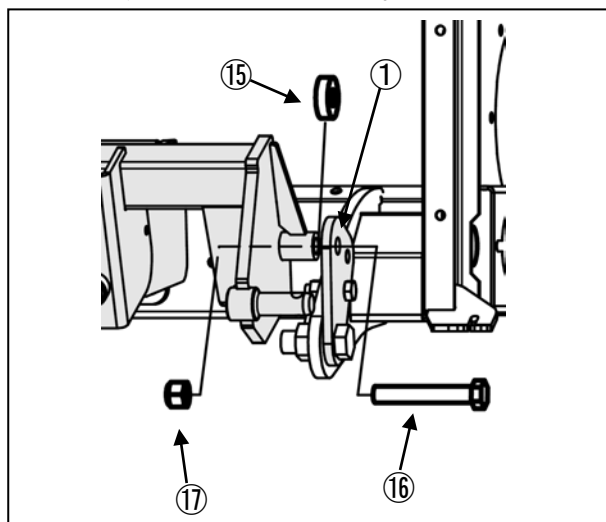
RB-A

- [6] シングルジョイントをミニロールペーラ本体の入力軸に差し込んでください。



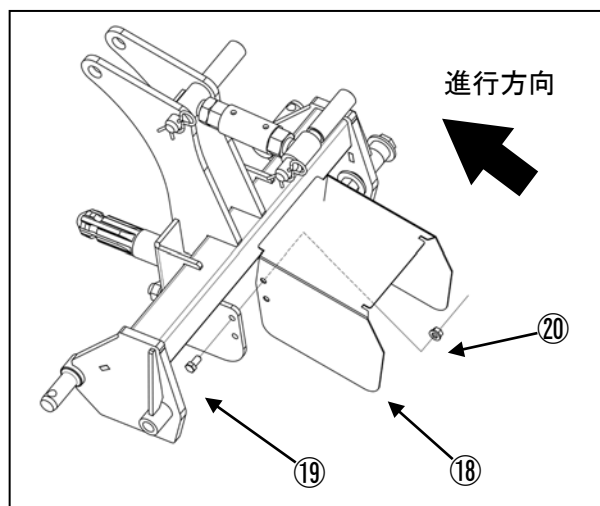
- [7] 次図を参考に

⑮スペーサーを①コティブラケットの穴と合わせ、⑯ボルト16×100(8T)と⑰ナイロンナット16でヒッチと作業機を固定してください。

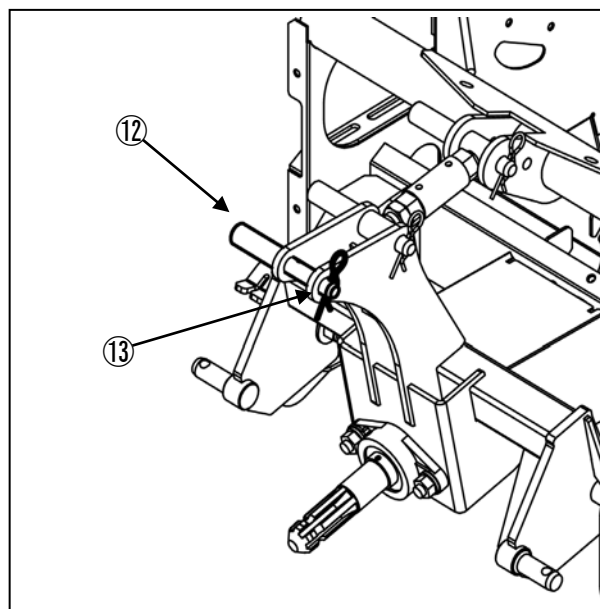


- [8] ヒッチフレームと

⑱PTOカバートクヨウを⑲ボルト8×16と⑳スプリングナット8を使用して4箇所固定してください。



- [9] ヒッチトップリンク部に⑫トップリンクピンを取り付け、⑬アールピンで固定してください。



- [10] 上記[1]～[9]で日農工特殊オートヒッチA用部品の組付けは完了です。

注意

トラクタによっては装着できても、作業姿勢がとれない場合があります。その場合は販売店までご連絡ください。

オプションヒッチの組付け

RB-B

2. 日農工特4PオートヒッチB型用部品

日農工特4PオートヒッチB型をお持ちのお客様は、次記の手順でオプション部品を取り付けていただくと、オートヒッチでの着脱作業が可能です。ミニロールベアラ本体にオプション部品を組み付ける時は平坦で安定した場所で行ってください。また、ミニロールベアラの取り扱いについては本体の取扱説明書をご覧ください。

◆組付け手順

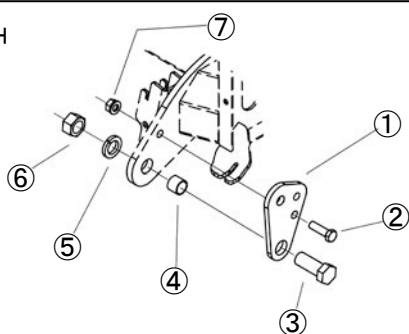
[1] 作業機本体のロワーリンクに

- ①コティブラケットを
- ②ボルト12×40(8T)
- ③ボルト22×55(8T)
- ④ブッシュ
- ⑤バネザガネ22
- ⑥ナット22
- ⑦スプリングナット12

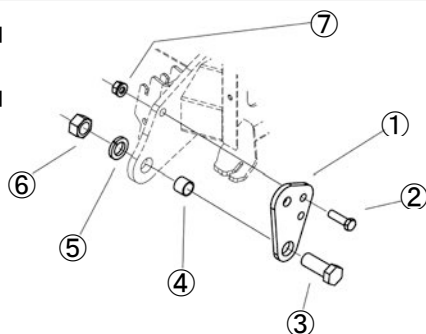
を使用し組付けてください。

②のボルトを通す穴は本体号機によって異なります。組付けの際は号機番号をご確認ください。

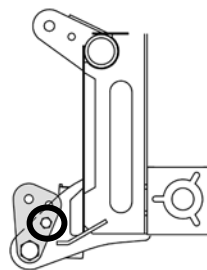
●RB-520-H
1～37号機



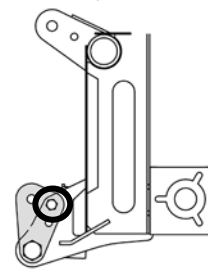
●RB-520-H
38号機～
●RB-521-H
1号機～



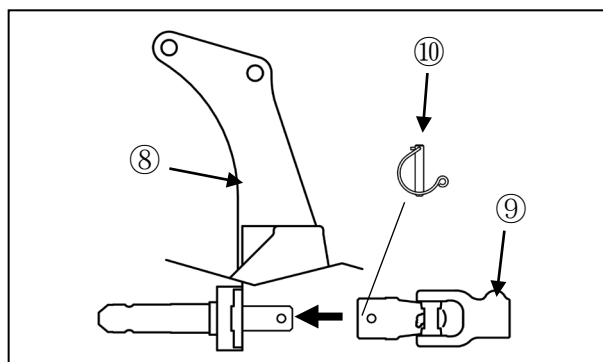
●RB-520-H
1～37号機



●RB-520-H
38号機～
●RB-521-H
1号機～



[2] ⑧アタッチヒッチB本体のスプライン入力軸に⑨シングルジョイントを差し込み⑩ジョイントピンφ10×60で固定します。
⑩のピンは過負荷がかかると切断します。切断した際は指定のピンと交換してください。

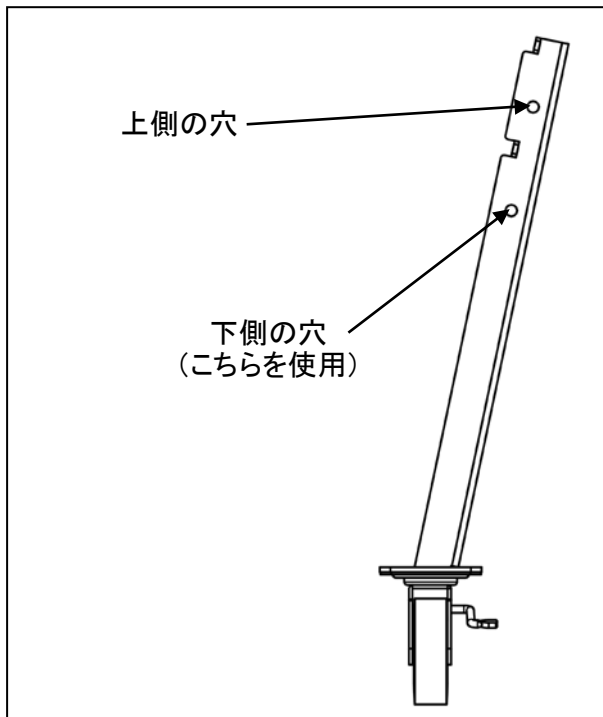


部 品 名 称	部品コード	員数
⑩ジョイントピン φ10×60	11638-1423-000	1

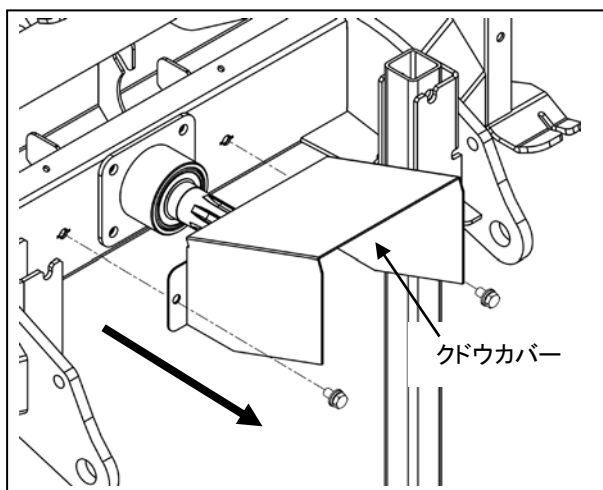
オプションヒッチの組付け

RB-B

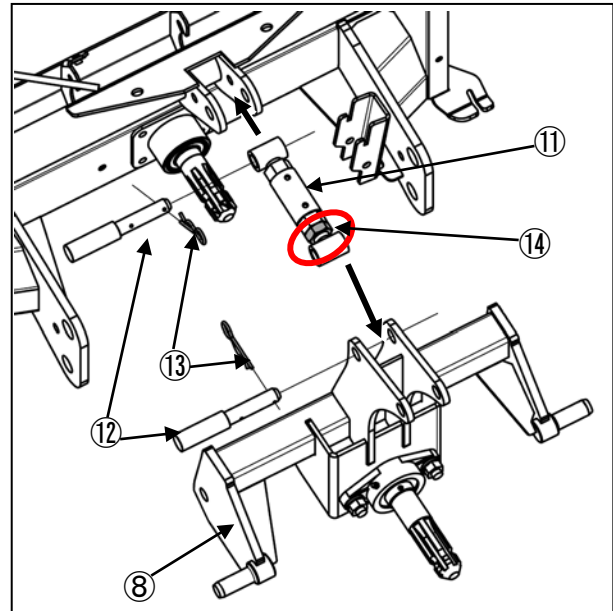
- [3] ミニロールベアラのスタンドの位置を調整し、下側の穴に合わせてください。



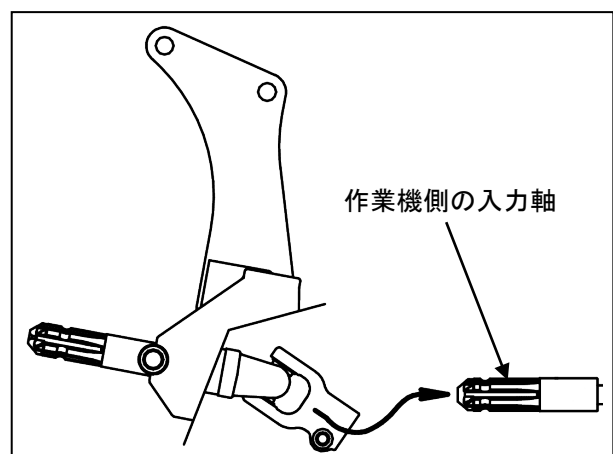
- [4] ミニロールベアラからクドウカバーを取り外します。



- [5] ⑧アタッチヒッチB本体を⑪ターンバックルを介して⑫トップリンクピン、⑬アールピンでミニロールベアラ本体と接続します。⑭ロックナット (図中○部) がある方をアタッチヒッチ側に向け、反対側は作業機本体トップリンク部の穴を使用して接続してください。



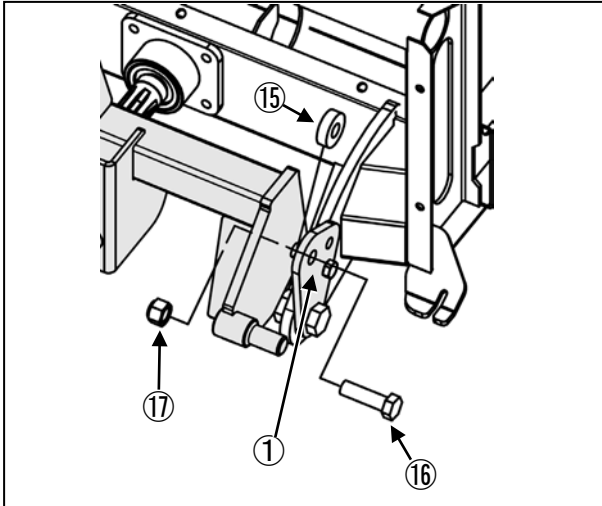
- [6] シングルジョイントをミニロールベアラ本体の入力軸に差し込んでください。



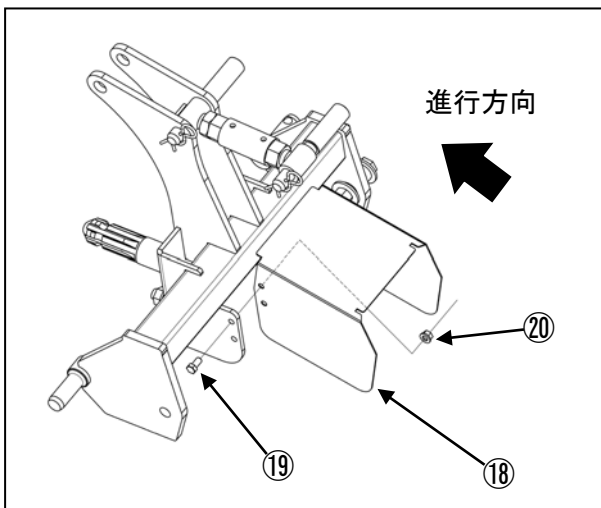
オプションヒッチの組付け

RB-B

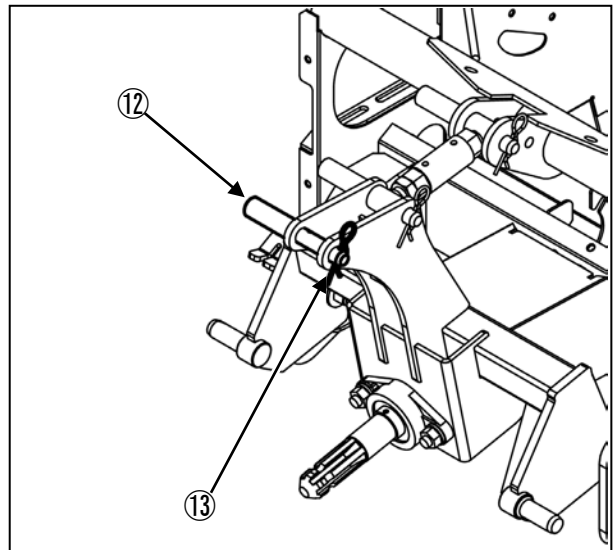
- [7] 下図を参考に⑮スペーサーを
①コティブラケットの穴と合わせて、
⑯ボルト16×55(8T)と⑰ナイロン
ナット16でヒッチと作業機を固定
してください。



- [8] ヒッチフレームと⑱PTOカバートクヨウ
を⑲ボルト8×16と⑳スプリングナット
8を使用して4箇所固定してくだ
さい。



- [9] ヒッチトップリンク部に⑫トップリンクピン
を取り付け、⑬アールピンで固定
してください。



- [10] 上記[1]～[9]で日農工特殊オート
ヒッチB用部品の組付けは完了です。

注意

トラクタによっては装着できても、作業
姿勢がとれない場合があります。
その場合は販売店までご連絡ください。

オプションヒッチの組付け

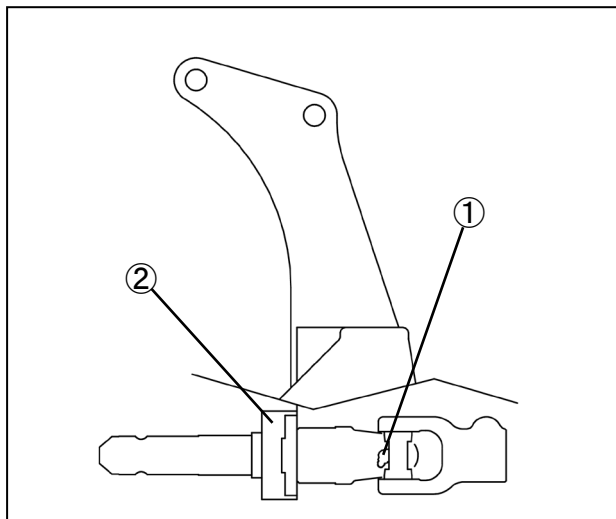
RB-A・B

3. 各部へのグリスアップ

●グリスアップ箇所

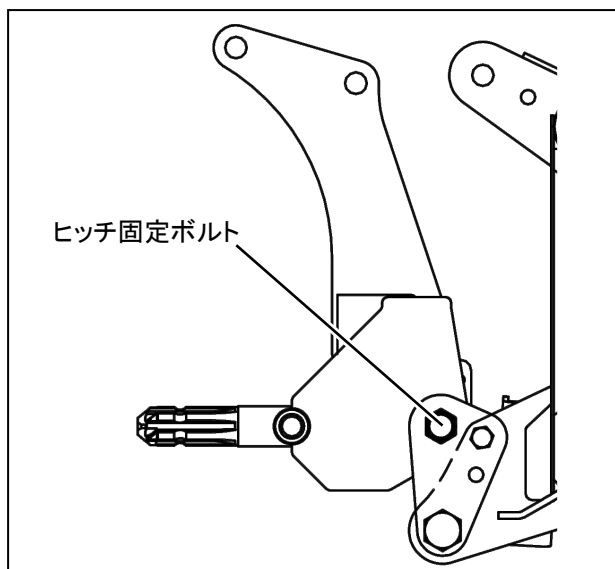
定期的に各部のグリスアップを行ってください。

場所	グリスアップ箇所	間隔
①シングルジョイント	1箇所	使用毎
②ベアリングユニット	1箇所	50時間毎

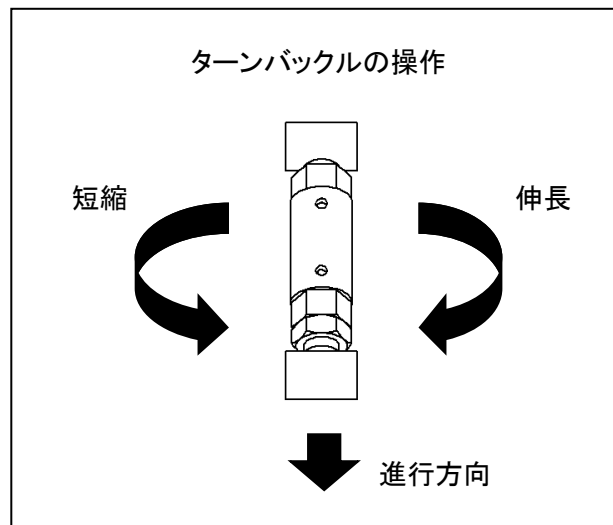


4. ターンバックルによる機体角度調整

[1] ヒッチ固定ボルトを緩めます。



[2] ロックナットを緩め、ターンバックルを回転し伸縮させることで作業機の姿勢を調整できます。(約10°)



[3] 調整後、[1]で緩めたヒッチ固定ボルトを締め直します。